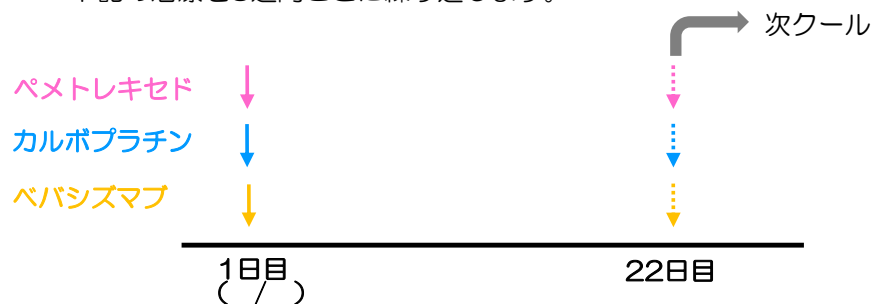


レジメンと主な副作用の指導内容

- ☆ 治療スケジュール (CBDCA+PEM+BV)
下記の治療を3週間ごとに繰り返します。



- ☆ 治療に使うお薬について

| | 時間 | お薬の名前 | お薬の作用 |
|---|-----|---|--------------------------|
| ① | 20分 | パロノセトロンバッグ 0.75mg/袋 デキサメタゾン 9.9 mg | 吐き気予防 アレルギー予防 皮疹予防 |
| ② | 10分 | ペムトレキセド [500mg/m ²] mg 生理食塩液 100ml | 抗腫瘍剤 |
| ③ | 1時間 | カルボプラチン [AUC=5] mg 5%ブドウ糖液 250ml | 抗腫瘍剤 |
| ④ | 90分 | エトポシド [15mg/kg] mg 生理食塩液 100ml | 抗腫瘍剤 |

ペバシズマブは特に問題なければ
2回目以降は60分、3回目以降は30分で点滴します。

副作用を軽減させるために、フォリアミン（毎日服用）と
メチコバル（9週間に1回筋肉注射）も使います。

☆注意事項

- ※現れる副作用は個人差があります。上記の副作用以外にも気になる症状が現れた場合は相談してください。
※抗がん剤投与中に点滴・注射部位が痛んだりはれたりした場合はすぐにお知らせください。
※血液検査の結果や副作用の現れ具合によってお薬が延期・減量・休薬・中止になる場合があります。

☆ 副作用について

- 自覚症状として現れやすいもの
- アレルギー反応（カルボプラチン点滴中〜）
さむけ、頭痛、かゆみ、咳、息苦しさ、喉のイガイガなどの症状が現れた場合は、すぐにお知らせください。
 - 注射時反応（ペバシズマブ点滴中〜）
点滴開始後に発熱、さむけ、発疹などの症状が現れることがあります。
また、吐き気や頭痛、倦怠感などが起こる場合もあります。
特に初回に多いと言われていています。症状が現れた場合はすぐにお知らせください。
 - 吐き気（当日〜）
 - 味覚異常、臭覚過敏（当日〜）
 - 便秘（当日〜）
 - 発熱、皮疹（当日〜）
38℃以上の発熱時や、全身に広がる皮疹が出現した場合は受診してください。
 - 口内炎（1〜2週間ごろ）
普段からうがいなどで口の中をきれいに保ってください。
 - 下痢
腹痛や1日4回以上の下痢、水様便、夜中に下痢が継続する場合はお知らせください。
 - 出血傾向
鼻血や歯肉・膣などから出血することがあります。
吐血や血便、喀血があらわれた場合はすぐに受診してください。
 - 消化管穿孔
強い腹痛（吐き気、嘔吐、便秘を伴うことがあります）があらわれたときは、すぐに受診してください。
 - 血栓症
意識がもうろうとする、まひが出る、ろれつが回らない、めまいがする、胸が痛む、息切れがするなどの症状がある場合はすぐに受診してください。
 - 高血圧
定期的に測定してください。頭痛、頭重感、耳鳴り、めまいなどの症状がある場合はすぐに受診してください。
 - たんぱく尿
適宜、尿検査を行います。
- 自覚症状として現れにくいもの（定期的に検査します）
- 骨髄抑制（1〜2週間ごろ）
白血球、赤血球、血小板など血液成分が減ることがあります。
→白血球減少時は感染症にかかりやすくなりますので、手洗い・うがい・マスク着用を心掛けてください。値によっては増やす薬を使用することがあります。
→赤血球減少時は貧血症状が起こりやすくなり、血小板減少時は血が止まりにくくなります。